

長野県障がい者スポーツ推進プロジェクト (令和3年度スポーツ庁委託事業成果報告書概略資料)



パラスポーツの新しい波を起こそう！

〔ロゴに込めた願い〕

コンセプトは、「ユニバーサルデザインの一步先」

点字のPWNをモチーフにしたロゴデザインで、信州の空と木々の美しい
信州・ながのを彩りと、長野から生まれる新しい波をイメージしています。

1 地域が有する課題

<現状と課題>

- スポーツを実施する障がい者が減少傾向
- パラスポーツに対する地域間の温度差が大きい
- 障がい者スポーツ指導員の活躍できる場が少ない
- 障がい者スポーツ競技団体の指導員・審判員不足、
- 障がい者スポーツ指導員・審判員等の人材不足、活動の低迷、競技スポーツへの専門性低下、指導者同士のつながりの欠如

2 目標

2028年に本県で開催される全国障害者スポーツ大会に向けて、選手発掘や育成が急務であり、同時にそれを支える指導員や審判の養成、障がい者が身近な地域でスポーツを楽しめる場所の確保、県民に対する障がいへの理解の促進を目的とした取組を実施し、パラスポーツを通じた共生社会づくりの実現を目指す。

3 事業の推進体制

障がい者スポーツを支援するための関係団体等により構成される「パラウェーブNAGANO実行委員会」を組織し、推進母体とした。（事務局は県障がい者支援課）

〔構成団体〕

長野県健康福祉部、長野県レクリエーション協会、障がい者スポーツ地域コーディネーター、長野県公民館運営協議会、長野県スポーツ協会、信州大学、長野県社会福祉協議会、長野県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会、長野県障がい者福祉センター、日本財団パラスポーツサポートセンター、長野県教育委員会スポーツ課、長野県障がい者スポーツ協会、長野県障がい者スポーツ指導者協議会、長野県スポーツ推進委員協議会

4 事業内容

課題解決に向けた取組みとして、障がい者スポーツを支える人材の養成と、障がい者がスポーツに取り組むきっかけづくりのために以下の取組を行う。

主な取組

- ① ボッチャ審判員養成講習会の開催
- ② 総合型地域スポーツクラブ等を活用した障がい者スポーツ拠点づくり事業

関連する取組

- ① パラウェーブ広場inイオンモール松本の開催
- ② 学校を対象としたパラ学の実施
- ③ ボッチャ競技大会「パラウェーブNAGANOカップ2021」の開催

5 事業内容～主な取組～

(1) ボッチャ審判員養成講習会の開催

県内でのボッチャの基盤強化とボッチャを通じた共生社会づくりの一環として、審判ができる人材を一人でも多く養成することを目的として開催

内容：長野県ボッチャ協会の2名に講師としてお越しいただき、午前は初級者向けに試合の流れ等を、午後は経験者向けにペナルティや珍しい事象について講習。

どちらもチーム分けをし、実戦を行いながら実施。

開催日：東北信会場 令和3年11月13日（土）

中南信会場 令和3年11月20日（土）

時間：午前10：00～12：00 午後13：00～15：00

場所：東北信会場 県立武道館（佐久市）

中南信会場 塩尻市ユメックスアリーナ

参加者数：東北信会場 59名 中南信会場 43名

アンケート結果

Qあなたのお住まいの地域で、ボッチャをやってみたいというニーズはありますか。

回答	件数	%	どのようなニーズがあるか
ある	65	93%	地域の高齢者クラブやボランティア団体など 公民館・教育現場 ボッチャクラブ設立準備中
ない	3	4%	
不明	2	3%	地域や身障協などで大会が行われるようになった 地区体協の行事
計	70	100	高齢者の体操教室でとても好評だった

Q今後、県からボッチャ審判員として依頼があった場合、審判を行いたいと思いますか。

回答	件数	%	いいえの主な理由
はい	53	76%	
いいえ	17	24%	体験教室レベルならいいが、大会レベルは自信が無い 初めてなので、何回か研修を受けたい 審判はハードルが高いのでお手伝いスタッフなどから経験を積みたい
計	70	100	

Q本日の講習会はいかがでしたか。

回答	件数	%
満足	61	87%
やや満足	6	9%
普通	3	4%
やや不満	0	0%
不満	0	0%
計	70	100

来年度も研修を継続的に実施し、自信の無い方のフォローを行う必要がある。
また、今回の受講者名簿を基に、ハードルの低い小さなボッチャイベントを紹介し、参加してもらうことで経験を積んでもらうことが必要。

〔成果〕

ボッチャ審判員養成講習会を受講した方のうち35名が、ボッチャ競技大会「パラウェーブNAGANOカップ2021」での審判員として大会を支えてくれた。

5 事業内容～主な取組～

(2) 総合型地域スポーツクラブ等を活用した障がい者スポーツ拠点づくり

身近な地域で気軽にスポーツ活動が行える環境を整備することを目的として、県内5つの総合型地域スポーツクラブに委託して、障がい者へのスポーツ体験会を行う「障がい者スポーツ拠点づくり事業」を実施。

内容

福祉施設や特別支援学校、障がい者スポーツ競技団体等と連携し、障がい者スポーツの体験会等を実施し、障がい者参加型のプログラムを導入するクラブに対して、委託契約という形式で金銭的支援を実施（上限額40万円/1クラブ）

契約クラブ及び内容

- ①千曲アプリコットスポーツクラブ（千曲市）
レクリエーション体験会 障がい者のスポーツ大会
- ②大かえで倶楽部（池田町）
レクリエーション・スポーツ交流 フットベースボール体験会
- ③NPO総合体操クラブWing（松本市）
ダウン症児親子体操 放課後児童運動支援
- ④木曾ひのきっ子ゆうゆうクラブ（上松町）
水上スポーツサップ体験
- ⑤たかぎスポーツクラブ（喬木村）
卓球・ボッチャ（小中高校生向け） S T T（視覚障がい者向け）
フットサル・ボール運動（小中高校生向け）



課題と今後

○課題

- ・自立するには、まだ参加費だけでは賅えない（助成が必要）
- ・たくさんの方に参加いただきたいが、その分配慮も必要な為、スタッフが少ないクラブには体制的に厳しい部分もある
- ・新型コロナウイルスの影響もあり、軌道に乗るまでに時間がかかってしまう

○今後

- ・来年度も本事業を実施し、少しでも障がい者スポーツを取り入れるクラブが増えるよう助成していきたい。
- ・また、2年目、3年目となるクラブは更に障がい者スポーツの拠点として地域で根付くよう、今年度得られた課題を踏まえ、改善策を検討し、地域内で、行政や関係団体等との連携ができる体制づくりを支援したい。

6 事業内容～関連する取組～

(1) パラウェーブ広場inイオンモール松本

大型商業施設内で一般の方向けにボッチャ体験やパラスポーツ競技用具の展示を行い、パラスポーツについて知ってもらうための体験型普及啓発イベントを実施

日時 令和3年10月9日（土）～10日（日）の2日間

場所 イオンモール松本店

来場人数 616人 250組



(2) パラ学

公益財団法人日本財団パラスポーツサポートセンターと協働で展開する、座学、パラスポーツ体験及び出前授業等を通して、児童の「多様性」と「しなやかな心」を育むことを目的とした教育プロジェクト。3年度からスタート

【座学「I'mPOSSIBLE」による授業】

パラリンピックを題材に共生社会への気づきを子どもたちに与える教材「I'mPOSSIBLE」を用いて、担当教諭が授業を実施。



【体験型授業「車いすポートボールゴールチャレンジ」】

長野県出身のパラリンピアンが講師を務める車いすバスケットボール専用車いすを利用した、長野県独自のパラスポーツの体験型授業。



多様性、しなやかな心を育み、パラリンピックやパラスポーツの魅力や面白さを効果的に学習

(3) ボッチャ競技大会パラウェーブNAGANOカップ2021

性別や年齢、障がいのあるなしにかかわらず、誰もが一緒にボッチャを楽しむことで、地域での交流の輪が広がり、ともに支え合い、誰にでも居場所と出番がある共生社会づくりを進めることを目的とし、県内在住の小学生以上を対象にボッチャ競技大会を開催。

大会名	日程	会場	チーム数	人数（障がい者数）
東信大会	令和3年12月11日（土）	長野県立武道館（佐久市）	35チーム	147人（35人）
中信大会	令和3年12月19日（日）	塩尻市ユメックスアリーナ	30チーム	137人（44人）
北信大会	令和4年3月12日（土）※コロナにより中止	信濃町立総合体育館	40チーム	201人（42人）※申込人数
南信大会	令和4年3月13日（日）※コロナにより中止	飯田市鼎体育館	28チーム	138人（38人）※申込人数
<県大会>	※コロナにより中止			